

「まちかどミーティング(地域巡回)」概要 (東部公民館)

日時・場所 平成 21 年 6 月 29 日(月) 午後 7 時～ 8 時 40 分 東部公民館
市民参加者数 26 人
市側出席者 市長・企画部長・総合政策課長・地域情報課長・同課広報広聴係長・同係主査
財政課長・市民保険課国民健康保険係長

市長市政報告 (19:00～19:40) ・総合計画「“わ”のまち能代」の意義
・「リサイクルポート」と「県北エコタウン構想」
・「バイオマスタウン構想」と「農業政策」
・市役所変革における「笑顔」と「あいさつ」・「感謝と思いやり」

市民との対話 Q 高校卒業後、大学等を経て地元に戻る雇用政策を。

(19:40～20:40) A 企業側から情報収集はできるが、大卒まで 4 年のタイムラグがあり、雇用情勢の変化も考えられ難しい問題。

検討内容...毎年県内の企業が参加する合同就職面接会や東京で開催する「A ターゲット就職面接会」(新規卒業者含む)を市広報で周知している。また、普通高校の生徒にも地元企業を知ってもらうためインターンシップや職業体験などを各高校で行っている。市でもホームページなどで情報の発信に努める。

Q 生活路や排水路等要望するが、調査の上優先順等について協議しながらとの回答をもらうが、その後の連絡がない。一部では既に手がけられたところもあるようだ。もっと連携を取ってもう一步踏み込んでほしい。

A 至らない点があったことは申し訳ない。今後は連携を十分に取りたい。

検討内容...自治会と連携を十分に図っていく。

Q 「市民歌」の普及について、吹奏楽用の譜面を作成し、広めてほしい。あわせて、旧市民歌を含めた CD 等を製作し、保存したらどうか。

A 吹奏楽用の譜面は必要と思う。旧市民歌も後世への保存に努めたい。

検討内容... 9 月補正予算で、合唱用及び吹奏楽用楽譜作成委託について予算措置されており、現在契約中である。

Q 道地地区の JR 本線 2 箇所の踏切だが、道地踏切の拡張は前から要請してあるが、伊勢堂踏切について、車両等通行止めの状態をみんな無視して車で通っている。せめて、普通車については規制解除を。

A 拡幅については、他の場所についての要望もあり、JR との協議が必要。時間を貸してほしい。伊勢堂踏切については、調査が必要。

検討内容...伊勢堂踏切の通行規制について、普通車規制解除を能代警察署へ問い合わせをしたが、解除には公安委員会と協議が必要であり、今後道路状況等調査して検討したいとのこと。

Q 第五小の建築について、様々な経緯があったが木造で建築された。メンテナンスをしっかりとしないと腐れ等が起きている。我々(PTA・地域)もできる部分では、ボランティア等協力したい。

A ありがたい話。父兄等への今以上の手間等負担を危惧していたが、地域でも協力くだされば、材料は市で準備するので、お願いしていきたい。

Q 防災訓練について、事前に道具等準備するが、実際に即した訓練が必要。必

要道具等の場所を含めた地図(ハグートマップ)が必要。避難場所(機織地区は能商?)についても、場所もはっきりせず、距離や移動方法等问题がある。そして、非常時の飲料水確保のためにも、使用可能な井戸の調査も必要では?

A 訓練については、おっしゃるとおり実態に即した訓練は必要と思う。

検討内容...今年度作成、全戸配布する「洪水ハグートマップ」に避難場所も記載するので、家庭内に備え付け、保存版として活用してほしい。

また、「広報車両周知」と併せ、自治会長等には「電話連絡の情報伝達」の外、希望する自治会長等には「一斉メールの配信による情報伝達」を考えている。自治会内の緊急連絡網等の体制づくりに、協力をお願いしたい。」

Q 檜山川だが、上流から鉄橋付近までは草刈り等も行われ、比較的きれいなのだが、鉄橋から一変し、黒く汚れ底も見えない。現地を確認してほしい。

A 檜山川は、県管理河川。県と協議の上伝える。

検討内容...振興局より回答受領し、要望者へ電話連絡。その際「川の黒濁は、工業団地内工場から土日に排出される排水が原因」との情報を得、環境衛生課、商工港湾課へ連絡した。

環境衛生課で要望者本人へ事情を聴取。午後現場を確認し当該工場を訪問し事情を説明し、聴取。「土日も平日と同じ水管理だが、脱色はしていない」との事。水質管理は基準内だが、「色」の規制はないとの事。

Q 大館台地は広さ 10 町歩もあり、避難場所にふさわしい場所。教育委員会から依頼され、除草作業等しているが、予算削減で年 2 回が 1 回になった。そして、以前あった松林が松食い虫の被害にあい全滅した。伐採処理されたがそのまま残され、除草の邪魔になっている。対処を願いたい。

それから、国道 7 号線から東中付近に繋がる市道整備についてだが、現在右折レーン工事中で、完成後は車の通行が便利になるが、市道は幅 6 ㍍と狭く、通学路でもあり、朝は時間制の一方通行となる。現状の市道は、側溝蓋もしっかりしており、拡幅せずとも両側を足すと 2 ㍍程は広く使えると思う。簡易舗装でもいいので整備し、広くできないか。

A 大館台地については、再度確認したい。

市道に関しては、道路の構造等の問題もあるが、担当と再度調査し、検討したい。

検討内容...大館跡は国指定の文化財(史跡)のため、文化財保護の趣旨と異なる利活用については困難。ただし、現状を変更しない避難場所の指定については差し支えない。

松くい虫被害木処理については、平成 18~19 年に教育委員会が現地での薫蒸処理を実施した。今年度は前回薫蒸処理したものも含め、被害木を史跡外に搬出することにしている。ただ、搬出が困難な場所があり、一部については現地に集積される予定。

市道整備については、道路舗装幅員 5.5 ㍍。東側の路肩(土部分)は広い所で約 0.9 ㍍、西側は斜面約 1.0 ㍍でどちらも蓋無し側溝である。歩道等の確保には約 1.5 ㍍以上の幅員が必要で、現状では難しいと考えている。